

出前授業から2年生ダスキン「そうじのしかた」

ゴミが舞い上がらないように「おさえばき」。ちり取りも角度をつけてしっかりと最後のごみまでとります。



雑巾はたてしぼり。これがなかなかむずかしそうでした。

3年『かけっこ教室』

3年生は、三週連続で火曜日午後から、陸上の専門家から走り方を学びました。まずは体をしっかりとほぐしていきます。ちょっとしたバランスでも5秒もたない子が続出。

その後、前向きで、横向きで、できるだけ高く、遠くへミニハードルを飛び越して、左右にリズムよく素早く足の動かして、ラダーを進み、最後はダッシュ。

お手本を見て、頭に入れて動かそうとするけれど、足が思うように動かない。体重移動を使って、右？左？あれ？？？思うようにならなくて…でも「できてる」「その動きでいいんだよ。」「そうそう。」声をかけてもらい、思いっきり頭と体を使いました。走りは速くなったかな？50m走の記録が楽しみです。



「野畑小の子ども」について考えよう

教職員で、全国学力、体力、大阪府すくすくウォッチの結果を基に生活面、学習面、体力面などに分け、野畑の子どもがすぐれている力、足りない力を出し合い、来年度に向けてどんな力をつけなくてはならないかを話し合いました。

(よいところ)

- 自分に正直
- 肥満体形の子が少ない
- 持久力がある
- 助けてといえる
- 先生には相談できる
- もっと叱ってほしい
- 自分が好きなことはがんばってる
- 家の人との会話がある

(弱いところ)

- 自分の欲に負ける
- 自己肯定感が低い
- 将来の夢や希望持っている児童が少ない
- ゲームやYouTubeなどの視聴が4時間以上の割合が多い
- 算数や国語に対して苦手意識が強い
- コツコツと粘り強く取り組めない すぐにあきらめる
- ルールが守れない 切り替えができない
- 寝る時間や起きる時間が決まっていないため、遅刻者が多い。
- コロナ禍で制限があって、会話や伝える力が非常に弱い
- 失敗が怖い



来年度は

- ☆失敗しても笑われない、誰もが安心して過ごせる集団づくり
- ☆全校一斉に基礎学力向上に取り組む
- ☆聴く・話すのスキルを身につけさせる
- ☆スモールステップでできることを増やす⇒やればできる経験を
- ☆授業の中に「めあて 自力解決 共有深める ふりかえり」のスタイルをどの教科でも取り入れていく
- ☆学習の中でツールとしてICTを有効的に活用していく